

SCSミュージカル研究所
創立35周年記念公演


MUSICAL
Since 1990

ミュージカル
か い

KAI

幸せな妖怪

作・演出・振付 梶賀千鶴子
音楽 ヒロセ純

2025
7.26(土) ① 17:30
27(日) ② 11:00 ③ 15:00
(開場:30分前)

日立システムズホール仙台
(仙台市青年文化センター) シアターホール
全席自由 ¥3,500 (消費税込み、前売・当日とも)

ここは**CAI**が地球上のいのちたちを操る世界
そしてヒトビトは考えることをやめてしまった.....

さあ！妖しの世界から飛び出した**KAI**とともに
いまこそたましいの大洗濯の時だ！

創立35周年を記念し、創立者コンビにより書き下ろされた、哀しくも愉快的ファンタジー・ミュージカル！

出演：藤田 和正

廣瀬 奏 高橋 愛理
賛助出演：渡邊 寿宏

佐藤 花月
高橋 卓士

佐藤 月乃
蓮 つかさ

SCSミュージカル研究所ドリームキャスト
茅根 利安 (コロナキンセンアワー)

主催：一般財団法人 SCSミュージカル研究所

Illustration by Kazuki Sato

ミュージカル
KAI
幸せな妖怪

作・演出・振付 梶賀 千鶴子 音楽 ヒロセ純
演出振付助手 渡邊 寿宏 音楽助手 廣瀬 奏 稽古指導主任 佐藤 花月
音響 緒方 晴英 (coltivare) 照明 小野 光司 (FUN LIGHT) 装置 今野 芳明 (FACTORY-K)

2025年7月26日(土)①17:30 ・ 27日(日)②11:00 ③15:00

開場 各回30分前

日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)シアターホール

全席自由¥3,500(消費税込み、前売・当日とも)

主催(お問い合わせ・チケットお申し込み)

財団法人 SCSミュージカル研究所

☎ 022-224-7051 ☒ info@scsmusical.com お申し込みフォーム二次元コード

おはなし

それは、見えないけれど確かに存在しているのです……。

未来の地球、日本のとある山ふところ。シンギュラリティ(人工知能が人間の知的能力を超える時点)はとうの昔に過ぎて、AIが地球上のいのちたちを操っています。

かつて人間の叡智が生み出したはずのAIと、地球のいのちたちの二極分化は進む一方です。山ふところでは何かがうごめきバズっています。それは、個性あふれる妖怪たちが、おのれが妖怪になったニンゲン時代の四苦八苦、悲惨の日々、自慢話などに熱中していたのです。

その中のひとり、年齢不詳(当然)美青年と自負している、KAI(カイ)。ヒトビトはおどかしやイタズラに、キャーともウンともスンともいわず、喜怒哀楽を失っています。目的達成するだけの徹底した効率化の中に生きるヒトビトの見る夢は色の抜け落ちた灰色です。時代の流れ、価値感の変化のめまぐるしさに、心を盗まれてしまった彼らは、考えることをやめてしまいました。考えることはAIの仕事になってしまっています。このままでは「ヒトビトは幸せな妖怪になれない」と、妖怪たちはバズっていたのです。

そこでKAIは仲間に提案します。ヒトビトにかろうじてまだ残っているたましいをうばって、大洗濯、脳ミソに「考えるスイッチ」をつけよう。その変革の鍵は、ヒトビトが見る「灰色の夢」の中にあります。

そして、KAIはついに山ふところの異空間を飛び出すのです!

SCSミュージカル研究所創立35周年を記念し、創立者コンビにより書き下ろされた、哀しくも愉快なファンタジー・ミュージカルです!

さらに、SCS出身者のプロによる賛助出演を得たパワフルな新作舞台!



梶賀 千鶴子
作・演出・振付

宮城県仙台市生まれ。ミュージカル作家、振付師。劇団四季『キャッツ』や『コーラスライン』『ジーザス・クライスト・スーパースター』等の演出補をはじめ、『コタ不思議な仲間たち』『人間になりたがった猫』『魔法をすてたマジヨリン』『むかしむかしゾウがきた』『エルリックコスモスの239時間(エルコスの祈り)』『冒険者たち』等では台本作家・演出家として活躍。

退団後は松本幸四郎主演ミュージカル『ZEAMI』、富田勲オペラ『ヘンゼルとグレーテル』などの商業演劇演出や、自治体等からの依頼による創作ミュージカルづくりも数多く手掛け、1990年に私塾としてSCSを立ち上げ(同年SCSミュージカル研究所)に改称し仙台を中心に創作ミュージカルづくりを展開。

近年では劇団四季を通じ中国語に翻訳された『人間になりたがった猫』と『魔法をすてたマジヨリン』が中国各地で上演された。

宮城県教育文化功労者(2010年)、仙台市教育文化功労者(2020年)、宮城学院女子大学非常勤講師(2008年～2016年)、宮城県文化芸術振興審議委員(2014年～)



ヒロセ純
音楽

山形県米沢市生まれ。舞台プロデューサー、シンガーソングライター。(一財)SCSミュージカル研究所代表理事、(有)純クリエイション代表取締役。

1990年にSCSミュージカル研究所を設立。以降SCSミュージカル『TAROH』カナダ(トロント)公演(1993年)の他、平泉ミュージカルドイツ(フランクフルト)公演(2011年)、七ヶ浜ミュージカル『NaNa5931』の日生劇場(東京)単独公演(2012年)などをプロデュース。

また宮城県および仙台市や米沢市、一関市、七ヶ浜町等の県民・市民ミュージカルプロデューサーとしての活動のほか、舞台俳優、声優、歌手としての活動も継続している。

一方で、舞台作品創作及び制作実務経験者として大学非常勤講師(東北学院大学[2012年～2023年]、東北大学[2015年～2022年]、郡山女子大学[2018年～2022年])等も努めた。

関連出版物に『ありがとうの詩』(2012年、河北新報社刊、付属CDに作曲と歌唱で参画)、『田園のイングランド』(2018年、彩流社刊、共著)などがある。

歌津町教育文化功労者表彰(1999年)、米沢市芸術文化協会特別賞受賞(2015年)

お問い合わせ、チケットのお求め、体験・見学のご希望はこちらまで

財団法人 SCSミュージカル研究所 〒980-0811仙台市青葉区一番町1-4-30 TEL.022-224-7051 FAX.022-213-7789 ☒ info@scsmusical.com HP www.scsmusical.com

出演

SCSミュージカル研究所ドリームキャスト(予定)



賛助出演



渡邊 寿宏



高橋 卓士



蓮 つかさ



茅根 利安
(ココロ/キンセンアワー)

仙台市出身。5歳よりSCSミュージカル研究所で学び、2013年に劇団四季入団。「はだかの王様」で初舞台後、「ライオンキング」「王子とこじき」「コンタクト」「アラジン」「バリのアメリカ人」「ロボット・イン・ザ・ガーデン」「クレイジー・フォー・ユー」に出演し、ダンスキャプテンも務める。また「ライオンキング」では、子役の育成を担当。「ガンバの大冒険」では主人公ガンバを好演する。

2025年からは活動の幅を広げ、後進育成にも積極的に取り組み、舞台経験を活かし地域貢献も行う。

東京都出身。10歳よりSCSミュージカル研究所で舞台に立ち始める。2005年劇団四季入団、2008年退団。

大作ミュージカルからストレートプレイ、コメディなど多岐に渡るフィールドで活躍。ナレーターとしても多くのTVCMなどで活躍中。アクティングコーチや芝居WSの講師なども行っている。

主な出演作品に劇団四季「人間になりたがった猫」「エビータ」「ウィキッド」退団後「橋からの眺め」「アニー」「モーツァルト!」「サムシング・ロッテン!」「ベリ・エリット」「ドリームガールズ」「ビートルジュース」等。

宮城県大崎市出身。幼少よりSCSミュージカル研究所で学び、高校卒業後に宝塚音楽学校へ入学。2011年、男役「蓮つかさ」として宝塚歌劇団に入団し、月組に配属。2017年『All for One』で新人公演初主演を果たす。『エリザベート』『ON THE TOWN』『グレート・ギャツビー』などで多彩な役を演じ、2023年『フリーゲル/万華鏡百景色』をもって退団。

現在は、舞台出演やピラティス指導のほか、SCSで後進の育成にも力を注いでいる。

仙台市出身。高校から演劇を始め、1999年宮城県芸術選奨新人賞受賞。2011年東日本大震災を契機に心の復興を芸術面で支援する「ココロキンセンアワー」を結成。「カレー屋の女」をソウル、東京、東北各地で上演し、Alice特別賞を受賞する。2014年からは「言葉の海へ」「明治に先駆けた雪国の女二人」「桜の森の満開の下」をプロデュース、出演。SCS、梶賀作品には、2012年より『sakura』『薊姫』『常長の祈り』『雪渡姫』『カミナリム』『仙台ねこ』『ともしだち〜走れメロス〜』などに出演する。

また、「伊達武将隊」「HAPPYふくしま隊」「おもてなしニ松少少年隊」のアドバイザーやヒューマンアカデミー仙台校講師として俳優を育成している。

